

2 9 標本船操業日誌から推定した福島県底びき網漁業による漁場の利用実態

福島県水産試験場 水産資源部

部門名 水産業－資源管理－底びき網

担当者 山廻邊昭文

I 新技術の解説

1 要旨

底びき網漁業標本船の操業日誌から底びき網漁場の利用状況を解析し、図1の口で囲んだ区域内の底びき網延べ曳網時間を算出し、底びき網の延べ曳網面積が各区画の総面積の何倍となっているかを推定した。

- ・水深200m以浅の海域での操業が多くを占めていた。
- ・最も曳網時間が多かったのは塩屋埼沖の水深100mの区画であった。
- ・その曳網時間は延べ6,462時間（表1）、曳網面積は区画総面積の11倍と推定された（表2）。

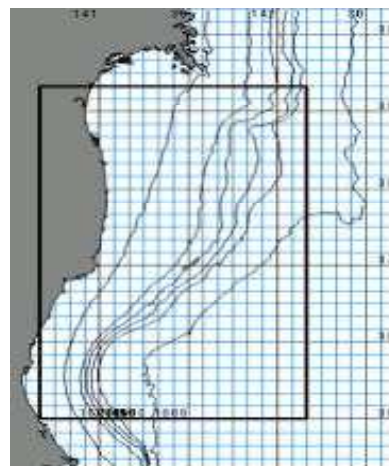


図1 調査位置図

2 期待される効果

本県のみならず全国的に底魚資源状況の悪化が指摘されており、国は資源回復計画の策定に着手した。今後、過剰な漁獲努力量を削減し、資源の持続的利用を可能とするための漁場の利用方法について検討するための資料となる。

3 適用範囲

県内漁業団体及び広域漁業調整委員会

4 普及上の留意点

主要底魚は少なくとも宮城～茨城の間の回遊が認められるため、関係各県の調査結果とあわせて検討する必要がある。

II 具体的データ等

表1 標本船から推定した本県底びき漁業による曳網時間

年月 1999年計

漁法 底びき

魚種 全魚種

単位 時間

時間	14040	14100	14130	14200	14210
3800			188		
			13 910 925 17	204 284	
			3415 3318 2697 633	717 119 197 71	84 115
			1420 5817 1847 566	770 128 363 49 51 92	191
			584 2938 1589 168	1000 418 521 113 69 97	225
			1171 774 643 173	168 1432 662 28 16 212	303
			597 2789 680 788	110 627 362	31 47
3730			2227 3146 605 288	364 126 61 19 250	39
			19 4341 2355 2018 407	765 37 49 28 167	16
			2138 3495 1504 1969 781	878 76 212 70	29
			1407 2221 1908 2699 2120	959 169	
			2128 1293 2010 3119 1886	441 46 16 38	
			16 1250 1301 4365 5454 2156	306	
3700			2937 977 1896 1988 2929 383	115 76	
			103 6462 754 1173 719 813 128		
			20 1407 1370 1480 1556 1261 143	359 61	
			145 300 395 231 119	14	
			177 126 203 409 486 69 237		
			54 336 409 904 28 34 44		
3630			264 403 779 188 46		
			68 194 1188		
			380 298 167		
			507 687 9		
			83 1602 577 29		
			767 1476 264		
3600			1420 1094 728 34 31		

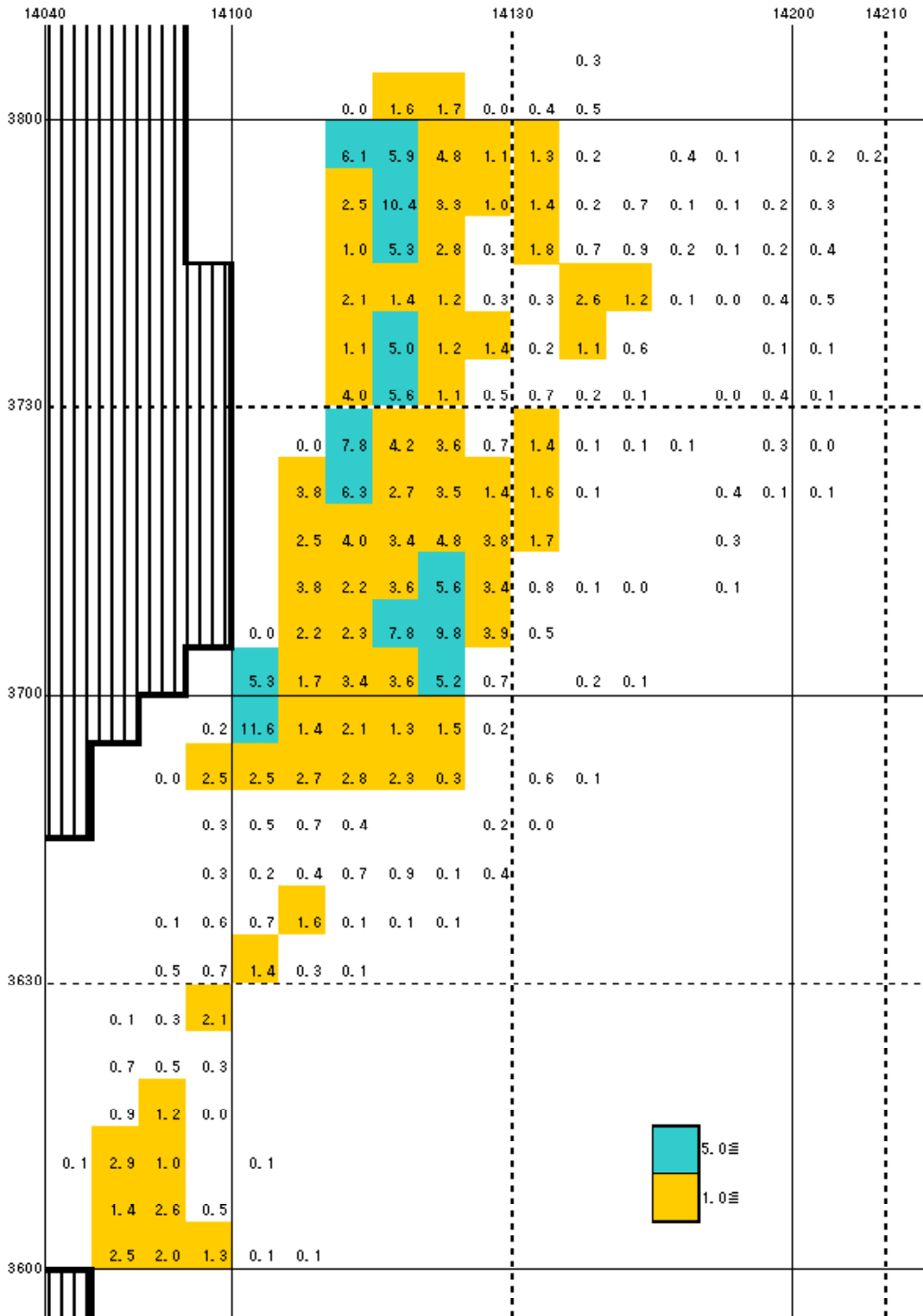
表2 標本船から推定した本県底びき船による曳網面積と区画面積の比

年月 1999年計

漁法 底びき

魚種 全魚種

単位 各区画全面積曳網回数



III その他

執筆者：山廻邊昭文、五十嵐敏